



株式会社アサリ研

Asaka Riken Company, Limited



～ 貴金属事業と環境事業により、
地球環境保護に貢献する
「市場創造型企業」～



会社説明資料 2011年9月26日

JASDAQ 証券コード 5724

本資料の取り扱いについて

- ❖ 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ❖ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ❖ 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

この度の東日本大震
災により被災された
皆様に心よりお見舞
い申し上げます。

当社は、復旧復興に
全力で取り組んで参
ります。

私、“山田慶太(やまだ けいた)”と申します

(株)アサ力理研 代表取締役社長

✧ 生 年 月 日 1954年8月3日

✧ 血 液 型 O型

✧ 趣 味 スキー

✧ 座 右 の 銘

人事を尽くして
天命を待つ



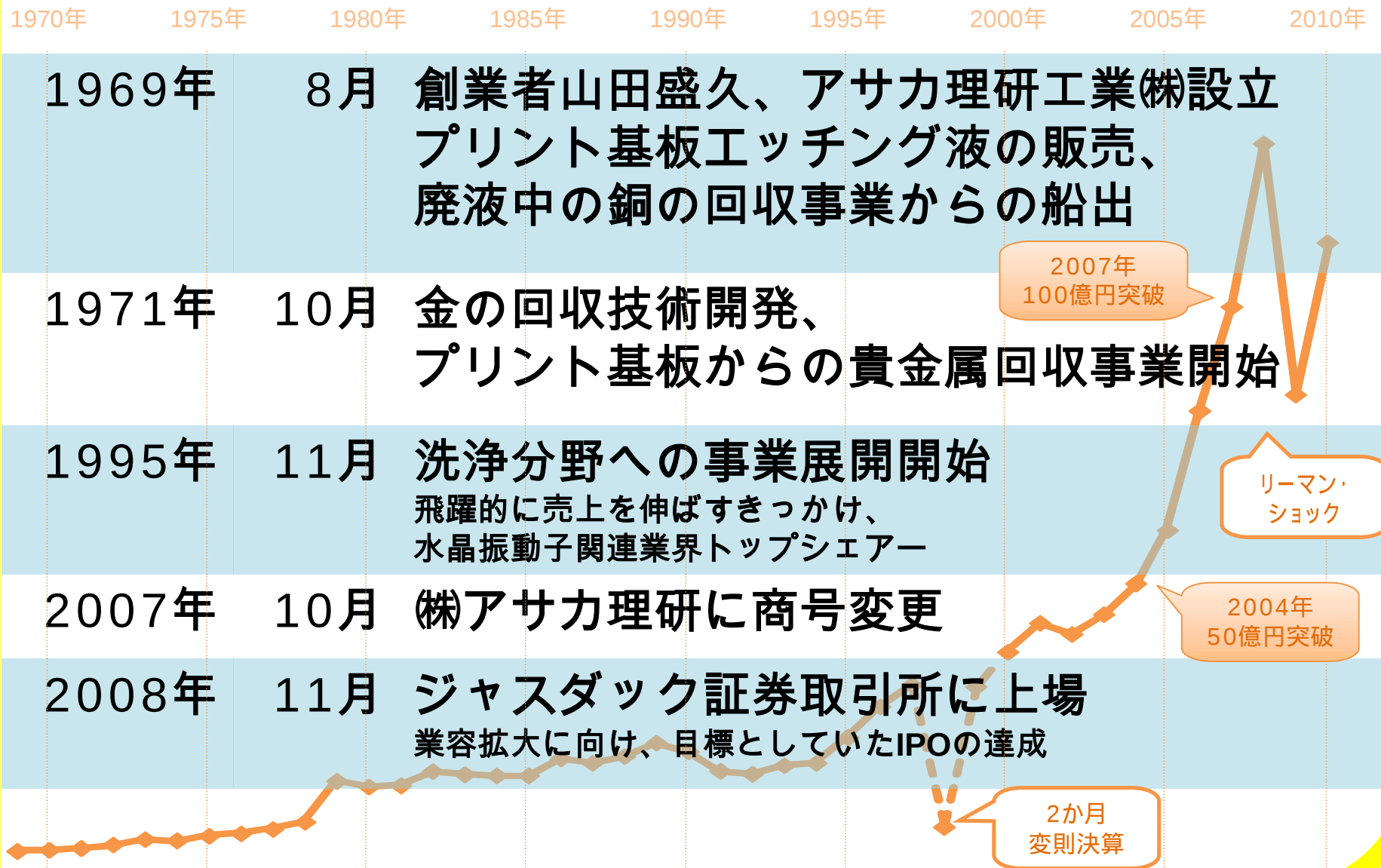
ご説明内容

- ✧ 当社および事業の概要
- ✧ 足もとの状況および業績見込み
- ✧ 今後の成長戦略と研究テーマ
- ✧ 株主の皆さまへの還元方針

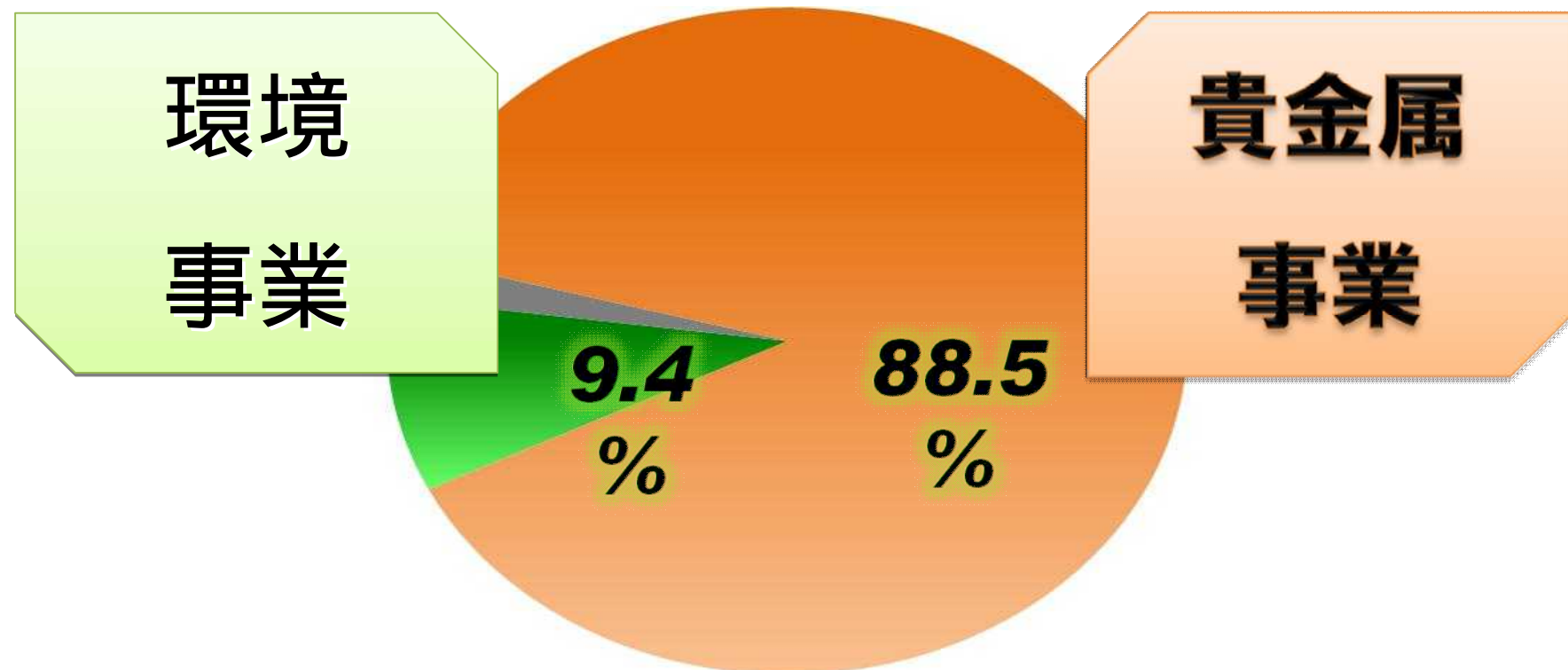
当社のプロフィール

社名	株式会社アサカ理研	社名の「アサカ」の由来 「福島」の会社であり、 安積疎水でも有名な地名を冠した
本社	福島県郡山市	
工場 他営業拠点	〔工場〕 郡山市内本社含め2ヶ所 〔国内〕 大阪営業所（吹田市）・九州営業所（北九州市） 〔海外〕 台湾支店（台湾高雄市）	
設立	1969年8月	
資本金	5億4百万円	
従業員数（単体）	140名（2011年6月30日現在）	
主要な事業内容	貴金属の回収精製、工業用薬品の製造	
決算期	9月30日	
上場市場	大阪証券取引所 JASDAQ市場 スタンダード （2008年11月、ジャスダック証券取引所に上場）	
証券コード	5724	
単元株式数	100株	

当社の略歴



当社の2つの中核事業



事業別連結売上高の構成比
(2010年9月期)

貴金属事業

掘りつくすことのない都市鉱山
独創技術がまた新たな鉱脈を誕生させる

回収事業

有価金属を含む不良品等を集荷し
有価金属を効率的に回収・精製

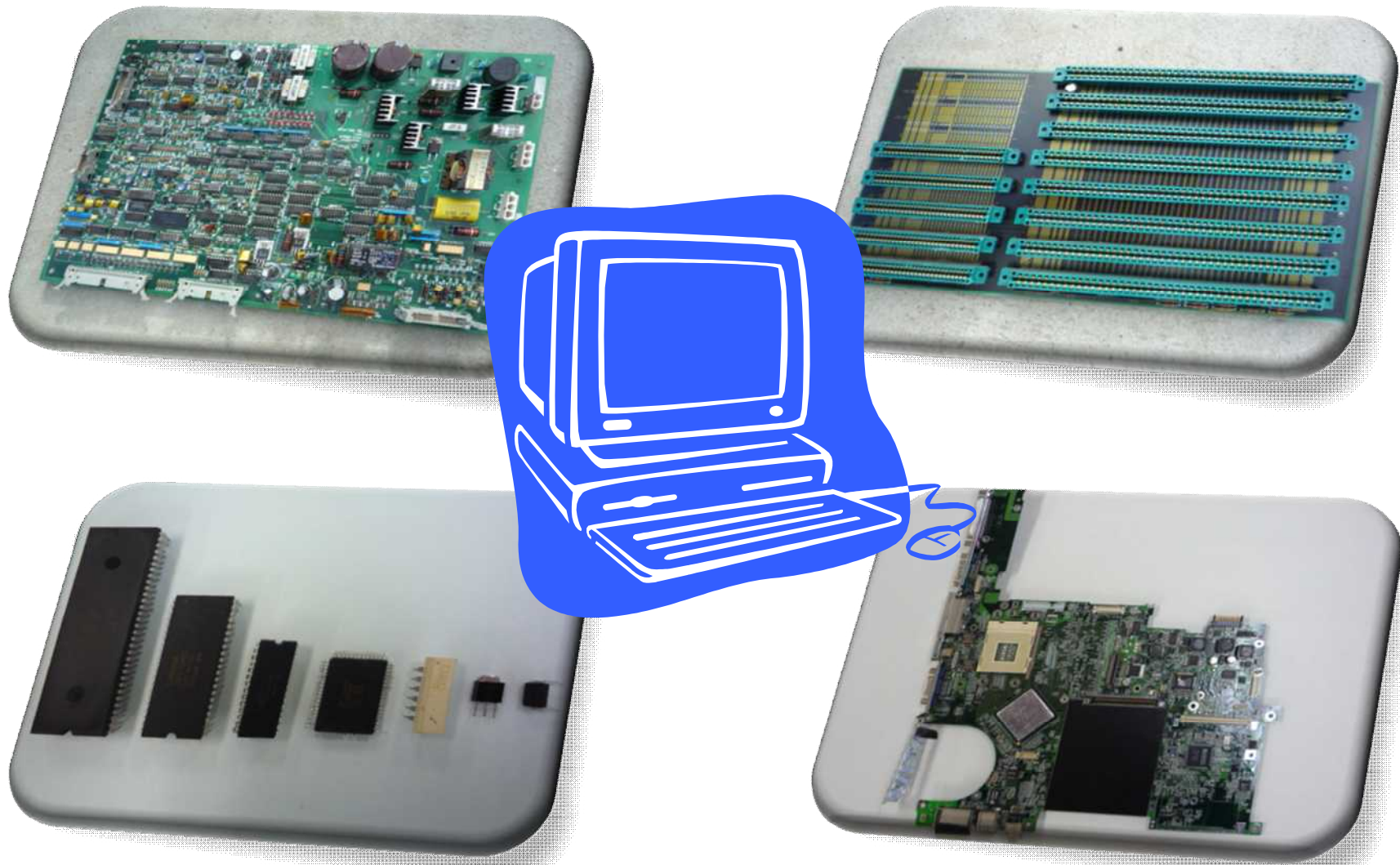
洗浄事業

使用済み治具の精密洗浄による
治具の再生および有価金属回収

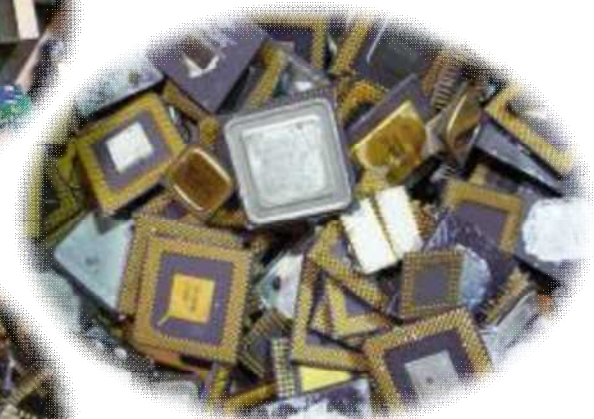
貴金属事業 (回収事業)



(解説) パソコンの電子部品

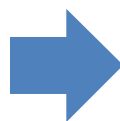


(解説) 集荷する電子部品 (製造工程で発生した コネクタ屑、基板屑)



(解説) 回収・精製のイメージ

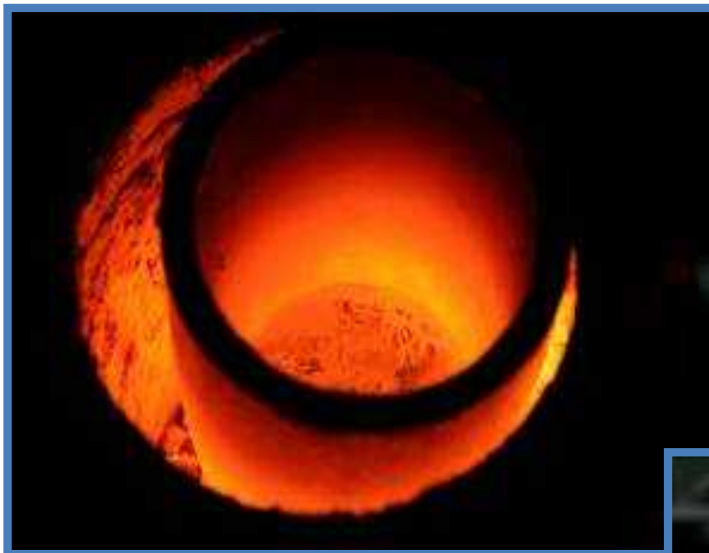
回収・精製



(解説) 回収・精製のイメージ(粗金パウダー ~ 精製金パウダー)



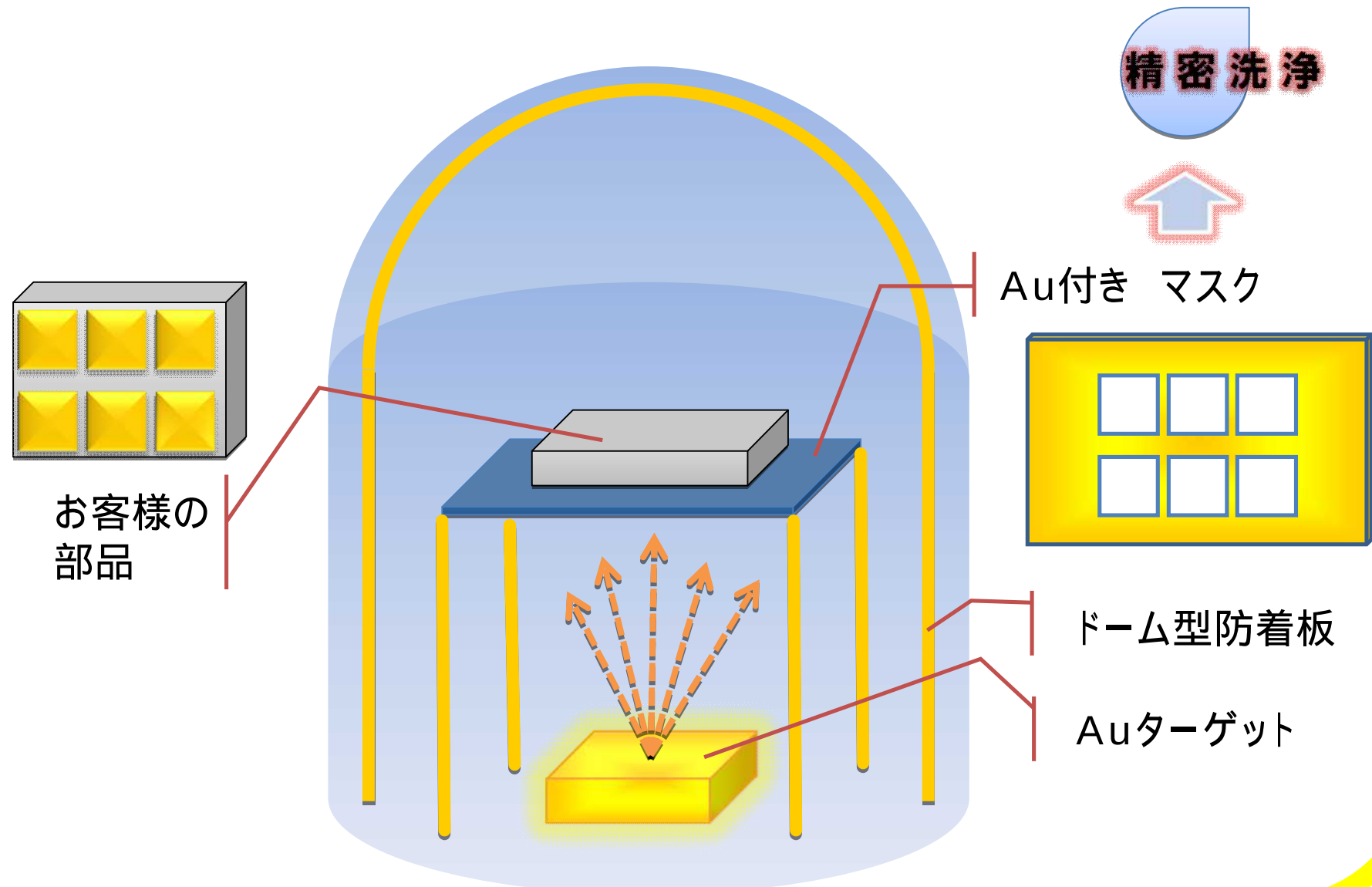
(解説) 回収・精製のイメージ



貴金属事業 (洗浄事業)

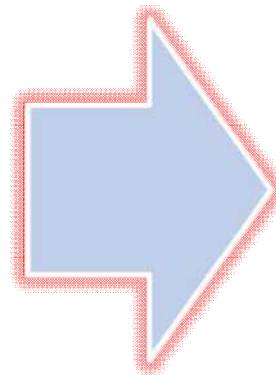


(解説) 真空蒸着装置のイメージ



(解説) 洗淨のイメージ

貴金属成膜装置の部品



洗 浄



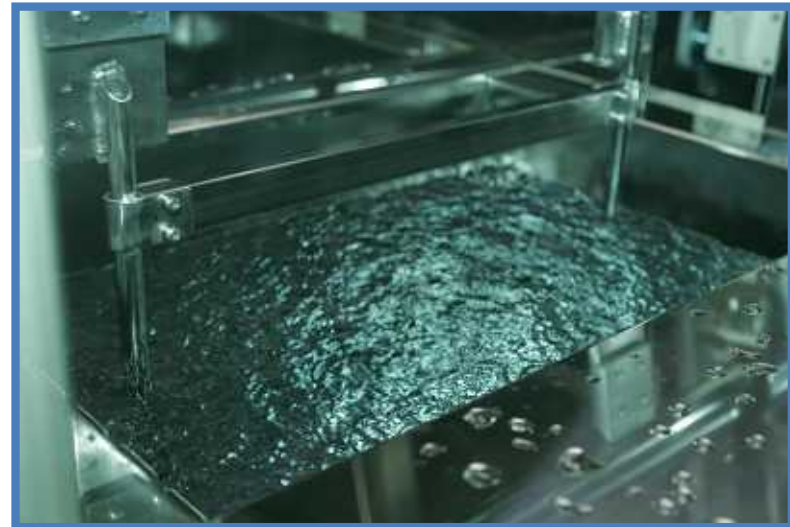
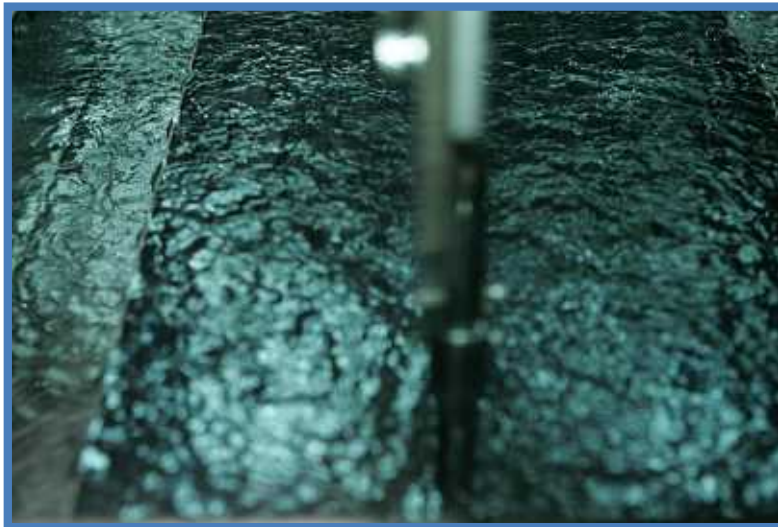
(解説) 洗浄のイメージ

マスク洗浄



(解説) 洗浄のイメージ

超純水超音波洗浄



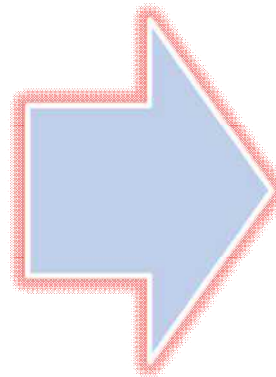
(解説) 洗淨のイメージ

洗淨品最終目視検査



(解説) 洗浄のイメージ

水晶振動子

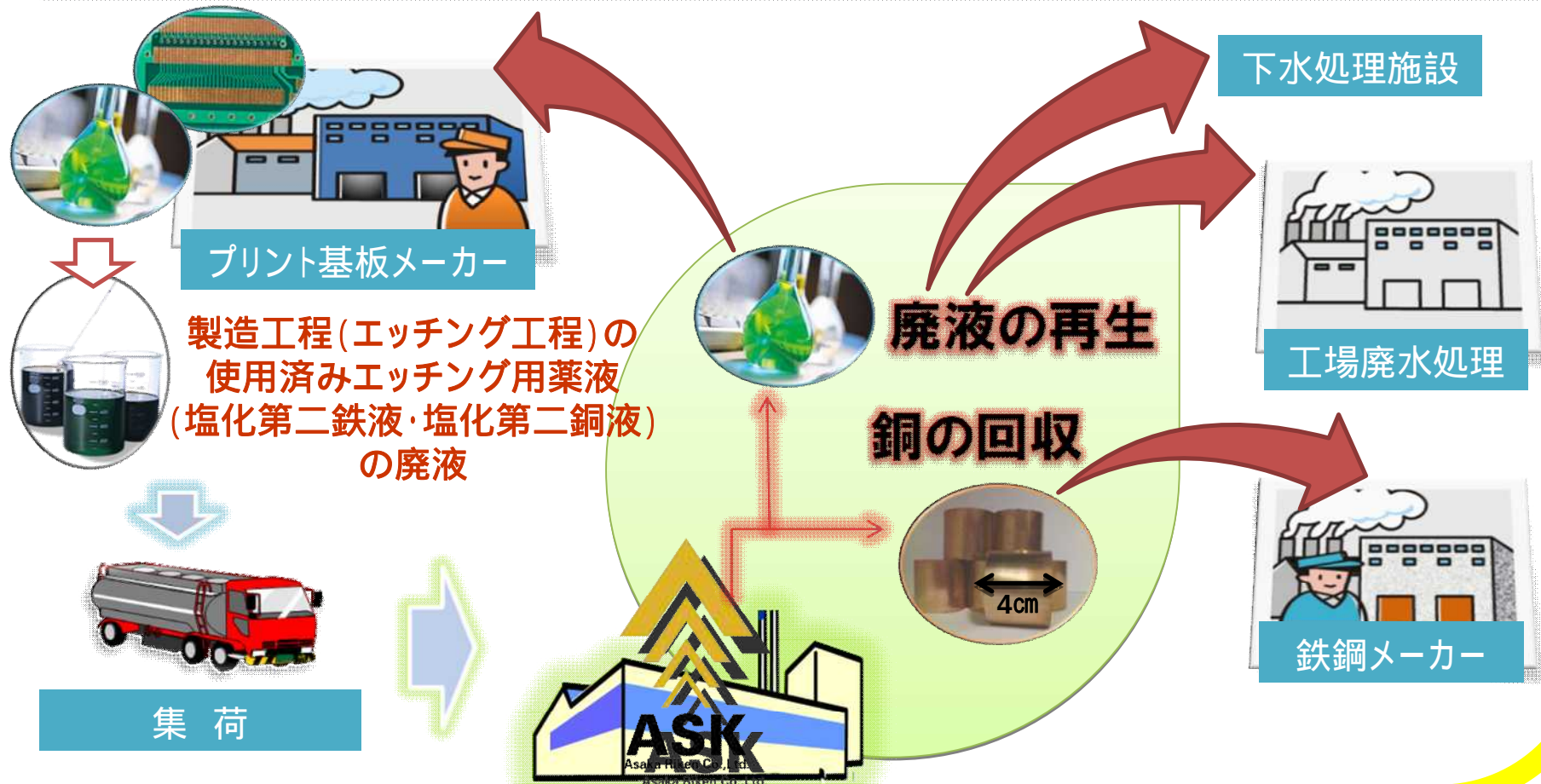


再生

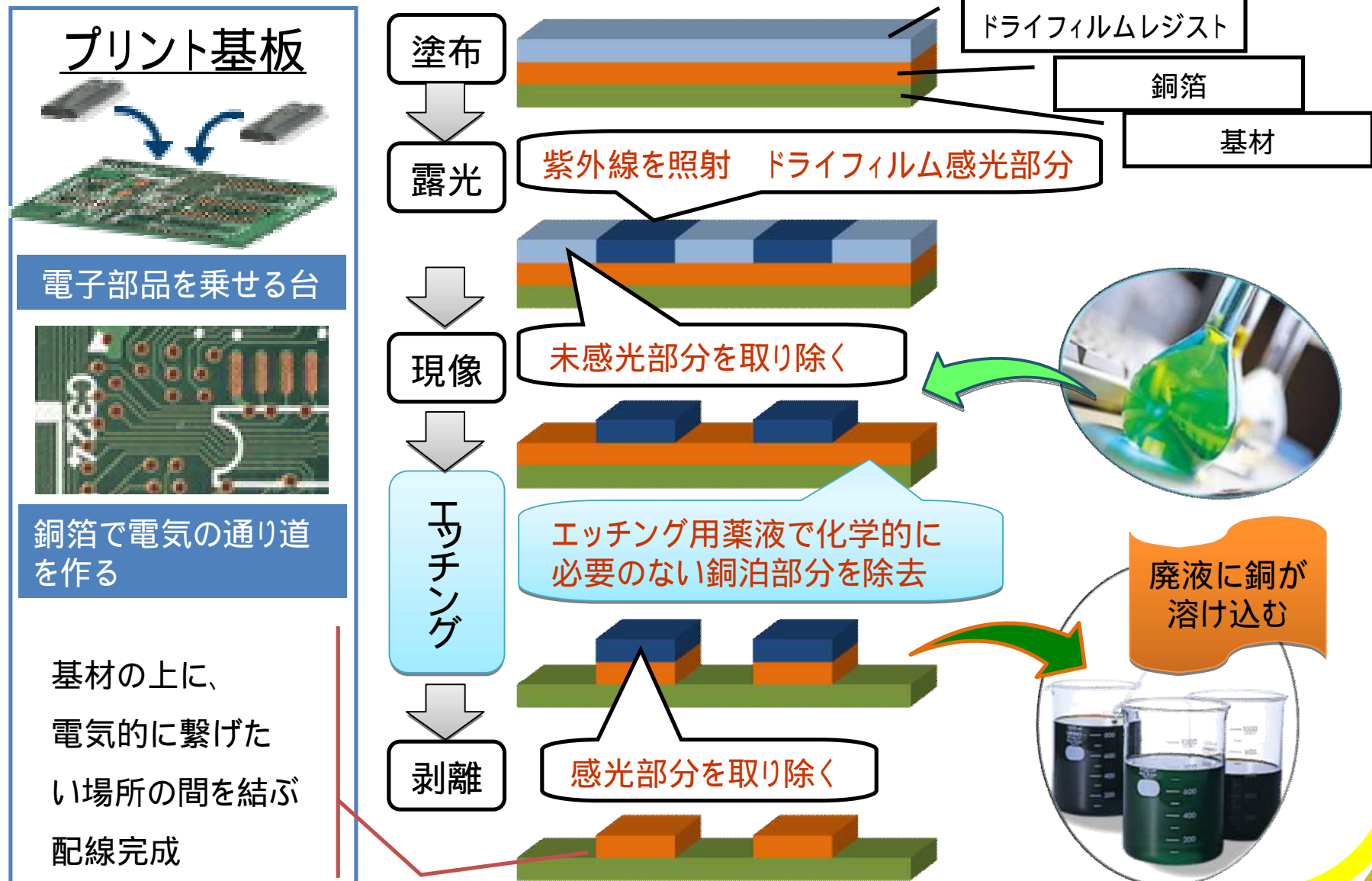


環境事業

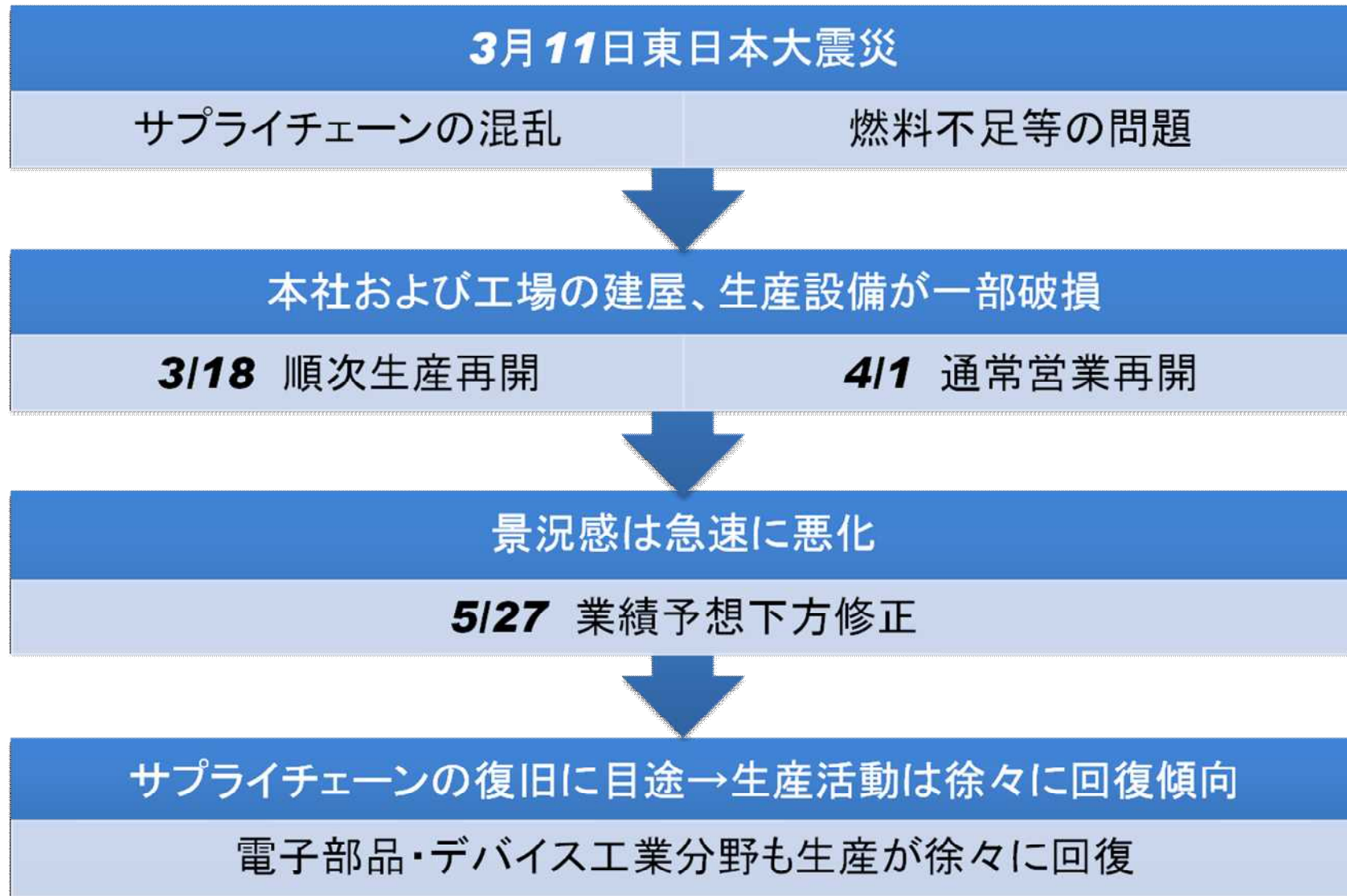
歴史と最先端が共存
創業の土台を活かし環境保全に貢献する



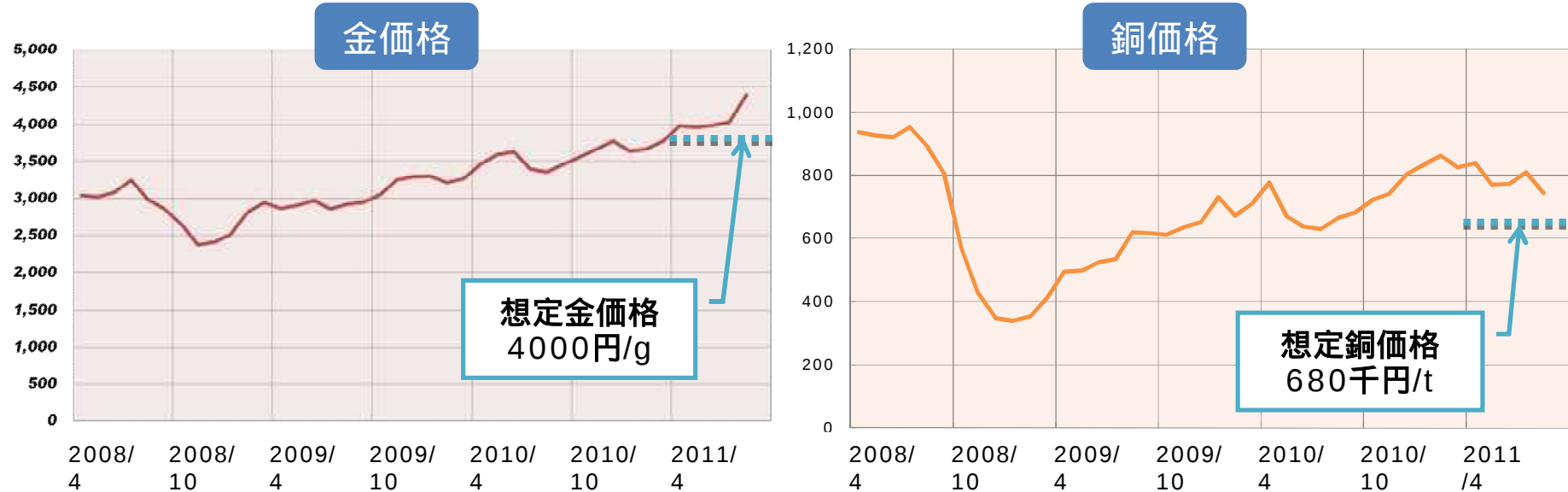
(解説) プリント基板製造工程～エッチング工程とエッチング用薬液



事業環境



現状



貴金属事業・・・

販売数量の増加と
貴金属価格の上昇

環境事業・・・

銅価格上昇によって主力製品で
ある銅ペレットの売上高が増加

8/12 前回公表(5/27)業績予想を上方修正

業績推移および2011/9期見込み

(単位 : 百万円)	2010/9期 実績	2011/9期 3Q累計実績	2011/9期 計画(8/12修正)
売上高	11,778	9,008	12,822
貴 金 属 事 業	10,577	8,196	
環 境 事 業	1,123	759	
そ の 他 事 業	252	166	
セグメント間内部売上高など	(174)	(113)	
営業利益	415	318	501
経常利益	386	336	490
貴 金 属 事 業	632	521	
環 境 事 業	239	186	
そ の 他 事 業	6	1	
セグメント間消法・全社費用	(492)	(371)	
純利益	181	77	169

当社の3つのコア技術

選択的剥離技術

独自の薬液配合により
金属の溶解速度をコントロール
母材にダメージを与えない
洗浄技術

精密洗浄の実現

分離・精製技術

スピーディーかつ回収率のよい
分離・精製技術である
溶媒抽出法を
他社に先駆けて実用化

貴金属の高い回収率の実現

触媒技術

低コストで環境負荷の少ない
汚染物質分解技術

光触媒の製造に応用

高度水処理材料の製造
水処理システムの設計

当社のこれから

3つのコア技術を生かした 新規事業の育成に積極的に取り組む

(1)
既存事業の中
でも高い成長性
が見込める
事業

(2)
電子部品・デバ
イスの生産・金
属相場の影響
を受けない事業

(3)
電子部品・デバ
イスの生産の
影響を受けない
貴金属事業

3つの重点課題と5つの戦略テーマ

(1) 既存事業の中でも高い成長性が見込める事業

- ・ ①グリーンデバイスからの貴金属回収、装置洗浄

(2) 電子部品・デバイスの生産・金属相場の影響を受けない事業

- ・ ②水処理事業の拡大
- ・ ③光触媒事業の拡大

(3) 電子部品・デバイスの生産の影響を受けない貴金属事業

- ・ ④歯科材料からの貴金属回収
- ・ ⑤小電廃基板からの貴金属回収

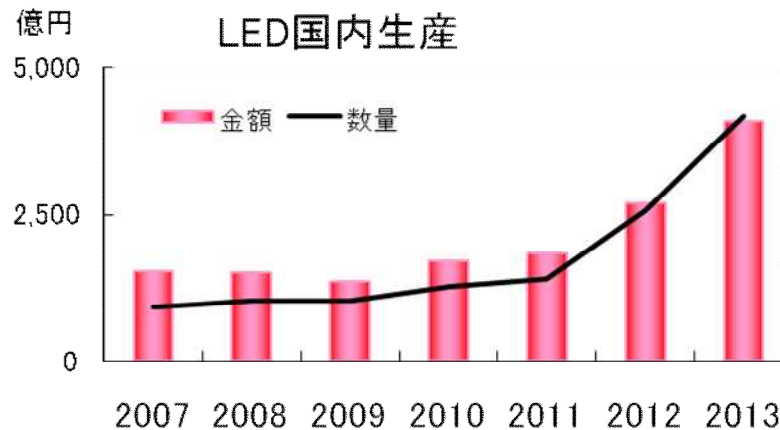
5つの戦略テーマ

(1) 既存事業の中でも高い成長性が見込める事業

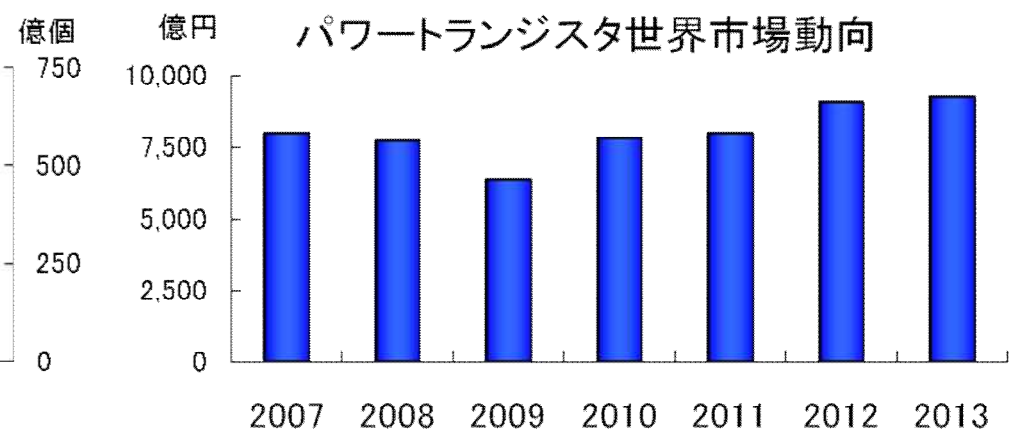
- ・ ① グリーンデバイスからの貴金属回収、装置洗浄

今後高い成長性が見込めるグリーンデバイス

(LED、パワートランジスタ など)



* JLEDS照明推進協議会 (10年以降は予想)



* 産業タイムズ社 (エコデバイス革命)

水晶業界の装置洗浄で培った技術を活用し、
成長市場の確実な取り込みを図る

5つの戦略テーマ -a

(2) 電子部品・デバイスの生産・金属相場の影響を受けない事業

・ ② 水処理事業の拡大

COD (化学的酸素要求量) 除去システム

◆東京湾、伊勢湾、瀬戸内海などの閉鎖性水域に対する都市排水、工場排水等のCODの排出規制強化に対応した高度処理技術を構築。

- ✓大手水処理会社を通じて、大手石油会社より受注。
- ✓同システムを製紙会社にて現地テスト開始。
- ✓システムに関するPCT特許を出願済み。国内特許への移行手続き中。

船舶バラスト水処理システム

◆バラスト水による海水中的水生生物の移動による、生態系への影響に配慮。IMO (国際海事機関) による本格的な規制開始を見込み、大手造船会社の処理システムの一部として開発。

- ✓共同特許を出願済み。海上実証試験中。
- ✓2012年夏より、本格的に事業開始予定。

5つの戦略テーマ -b

リン除去システム

◆将来的な排水中のリンの規制強化に備え、海外の水処理会社と提携して、コスト競争力のあるシステムの構築を目指す。

✓試験プラントでデータ収集中。

5つの戦略テーマ

(2) 電子部品・デバイスの生産・金属相場の影響を受けない事業

・ ③ 光触媒事業の拡大

太陽電池パネル向け用途の開発

◆チタニアシリカのガラスへの親和性、透明度、硬度といった特性を活かして、成長分野である太陽電池パネル向け市場への参入を目指す。

防汚用途の開発

◆外壁等の建材用途向け光触媒の販売

✓当社の要求するレベルの塗装技術を保有した
業者を育成し、ネットワークを拡大中



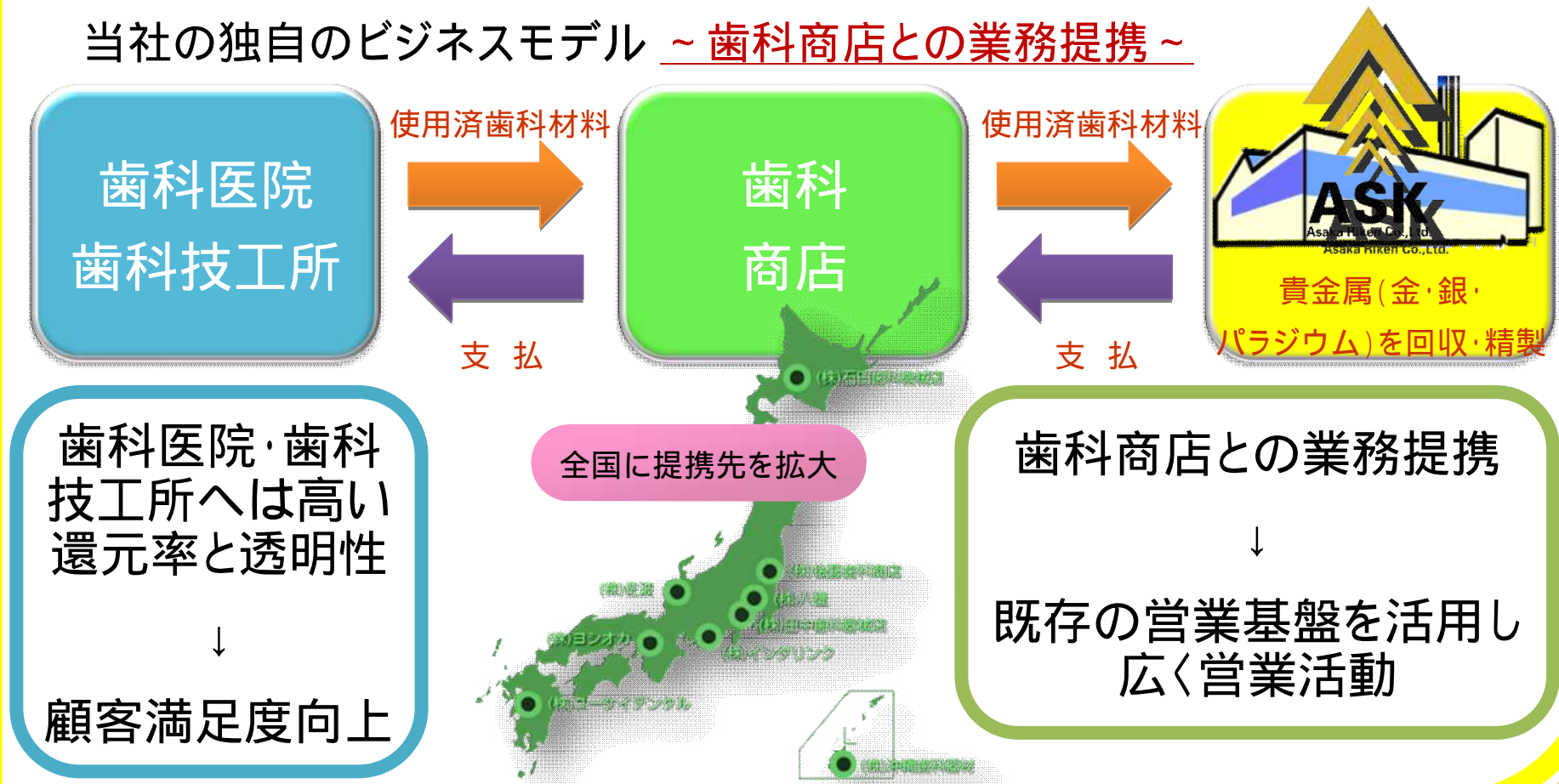
当社製品の特性を活かした、新たな用途開発と市場開拓を継続

5つの戦略テーマ

(3) 電子部品・デバイスの生産の影響を受けない貴金属事業

・ ④ 歯科材料からの貴金属回収

当社の独自のビジネスモデル ～ 歯科商店との業務提携 ～



5つの戦略テーマ

(3) 電子部品・デバイスの生産の影響を受けない貴金属事業

・ ⑤ 小電廃基板からの貴金属回収

使用済みの家電、電子機器の廃基板からの貴金属回収
解体・分別の効率化が課題

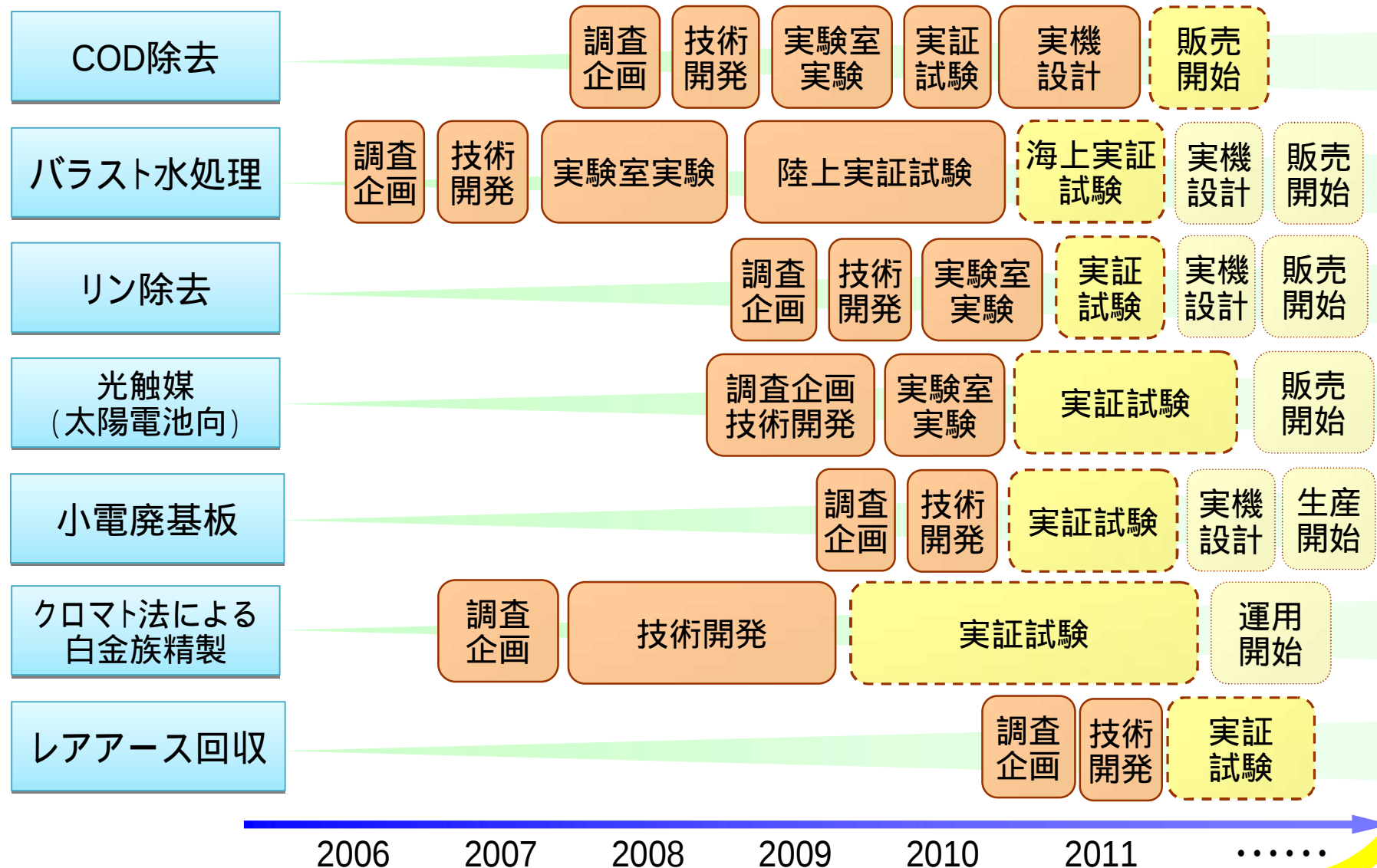
基板から部品を分離する技術
分離した部品に含まれる貴金属を凝縮する技術

当社の特徴を活かした事業展開を見据え、技術確立を目指す

小ロット対応	当事業における強みに
短期間での回収	
回収効率向上(低コスト)	

研究テーマの進捗状況

凡例: 実績 進行中 将来予測



株主還元

- 株主様への利益還元
- 将来の事業展開に備えた内部留保の充実
- 業績に裏付けされた成果の配分



1株当り年間配当金の計画

2011年9月期 15円

(2010年9月期実績 15円)

当社株価の推移(最近1年間)



最後にもう一度、皆さまにお伝えしたいこと

アサカ理研は

これからも地球環境保護に
邁進します！

各研究テーマはこれから刈り
取り時期を迎えます。
第2の成長ステージへ！

お問い合わせ先

❖ IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



株式会社アサカ理研 管理本部

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL : 024(944)4744

FAX : 024(944)4749

E-MAIL : ir@asaka.co.jp

URL : <http://www.asaka.co.jp/>

ホームページ リニューアルいたしました

URL : <http://www.asaka.co.jp/>

